



新潟市中学校新人体育大会

夏の大会まで各部・クラブを牽引してくれた3年生が抜け、新チームとして初めての公式戦に臨みました。日頃の練習成果を発揮した素晴らしい結果と併せて、中之口中のプライドである「競技は一流、マナーは超一流」を実践してくれたことと思います。参加した生徒の皆さん、お疲れさまでした。保護者・地域の皆様、応援ありがとうございました！



【大会結果】

- 男子バレーボール …… リーグ優勝 〈鳥屋野VC・早通VCに全勝〉
- 女子バレーボール …… ブロック優勝 〈黒埼中、関屋中、セントラルウィングスに全勝〉
- 男子卓球 …… 優勝 〈予選ブロック1位通過、決勝T全勝(坂井輪・関屋・巻西)〉
- 女子卓球 …… 第2位 〈予選ブロック1位通過、決勝T1勝1敗(上山：勝 関屋：敗)〉
- 剣道 …… 1次リーグ3位 2次リーグ1位 3次リーグ2位
- 水泳 …… 50M自由形 第4位 100M自由形 第4位
- 野球 …… 天候不良により大会中止（予備日なし）

体育祭成功！

応援ありがとうございました。

9月12日（金）の体育祭は天候に恵まれ、無事終了しました。生徒の笑顔が溢れ、学年を越えて協力する姿に生徒たちの成長を感じました。この経験を今後の学校生活にも生かしてください。ご声援くださった保護者の皆様、ありがとうございました。



の主な予定

前期から後期に移る、年度の折り返し時期です。前期を振り返り、達成できたことは自信につなげ、逆に反省点は見通しをもって自分の力で改善できるようにしていきましょう。合唱祭では素晴らしい歌声に期待します。

1日	(水)	アフタースクール (AS) 数学
2日	(木)	専門委員会 (前期反省)
7日	(火)	短 1年市内巡検・2年職場体験 縮 3年特編授業5限まで AS英語
8日	(水)	火曜授業 2年生職場体験
9日	(木)	AS数
10日	(金)	前期終業式
14日	(火)	短 後期始業式 AS数 縮 合唱練習～16日 (20分)
15日	(水)	短 AS英
16日	(木)	短 専門委員会 (後期計画)

17日	(金)	短 合唱練習～23日 (30分)
20日	(月)	代議員会
21日	(火)	短 生活アンケート (朝) 縮 AS英
23日	(木)	短 SC来校日
24日	(金)	短 1～3限短縮授業 4限合唱練習 縮 午後：合唱祭
25日	(土)	3年生実力テスト 中之口総合文化祭 (～28日)
28日	(火)	生徒朝会
29日	(水)	AS数
30日	(木)	AS英



7月からお休みをいただいている養護教諭の 小林 諒子 先生に、待望の第一子（長男）が誕生しました。母子ともに健康で、元気に過ごしているとのこと。今後とも温かく見守っていただければ幸いです。



3年生：演劇鑑賞を終えて…

前期期末テスト2日目となる9月3日(水)の午後に、3年生が拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓いー奪還ー」新潟市公演に参加し、演劇鑑賞を行いました。この舞台劇は、国民が拉致問題への認識を深め、拉致問題の悲劇をより深く理解する一助となるように政府が企画したもので、地方公共団体との共催により、全国各地で実施されています。

内容は、中学1年生だった横田めぐみさんが新潟市内で拉致された当時から現在に至る拉致問題の経緯、めぐみさんや田口八重子さんたち拉致被害者の北朝鮮での生活等を描いたものです。

鑑賞を終えて数日後、教育委員会から次のような嬉しいお知らせが届きました。

今回の劇に出演されていた俳優の原田大二郎さんが、新潟市の野島副市長とお話しされたことです。原田さんが、自分はこれまでにこの舞台で全国を回っているが、これほど真剣に鑑賞する生徒たちは初めてだとおっしゃっていたそうです。原田さんは、舞台袖から生徒たちの様子を見て、その姿にとっても感激したとのことでした。

なか中の生徒の真剣に向き合う姿が、この日初めて出会った俳優の皆さんの心に響いたという、大変嬉しい報告でした。その3年生の鑑賞後の受け止めを、抜粋で以下に載せます。



「見ていて心が痛くなったし、これが現実にあったと思うと、とても恐怖を感じた。」
「劇団の演技力や一体感で、拉致問題を解決しようという思いや熱が伝わってきた。拉致する瞬間のシーンがすごく怖かった。」

「私たちと同じくらいの歳で拉致されて知らないところへ連れて行かされ、家族と離ればなれになることの辛さが、演劇を見てさらに感じた。」

「お父さんお母さんがどれだけ辛いのが分かった。行けるところにいるのに助けに行けない悲しさを知った。」

「自分がその場にいるような臨場感があってとても恐怖でした。この観劇で拉致被害者や拉致問題のことなどをよく知ることができて、とてもよい体験でした。この機会をきっかけに、今後は拉致問題についてもっと知ったり関心をもったりしようと思いました。」

「こんなに優しい人が拉致されて帰ってこられないということが許せないし、とにかく早く日本に戻ってきてほしいという思いがとても強くなりました。署名活動など、自分にできることには参加をしていきたいです。拉致というあってはいけないことが起こってしまったという事実を、次の世代にも伝えていきたいと思いました。」

「演技力がすごく見ていて人々をその場にいるかのような感覚にさせるのがすごいと思った。」
「今回の観劇で、僕は今生きていることがとても幸せだと感じました。」

「心にグッときたのは、めぐみさんの両親である。いつまでもめぐみさんを探して、お父さんはめぐみさんに会えずに亡くなったけど、本当にお母さんをめぐみさんを再会させてあげたいという気持ちがあります。決して他人事ではないことを自覚して、めぐみさん以外の人の話も含めて拉致の怖さや、当たり前の生活や家族と過ごせる時間がどれほど大切を感じられた観劇でした。行ってよかったです。」

「めぐみさんが今どうしているのか、どんなことを思っているのか、生きていのかどうかすら、分からずに想像するしかないのが本当に辛いなと思った。めぐみさんの親族の思いは、自分には考えられないようなものだろうけど、役者さんの魂のこもった演技から、その思いを強く感じられたし、より深く、拉致問題について、世の中について、考えるきっかけになった。」

「演技や演出がすごく感動しました。演技を見てると感情移入ができて、すごく辛かったです。拉致された人たちが戻ってくることを願っています。」

「実際に署名をして拉致問題に協力することができてよかった。今後は『昔にあったこと』『他人事』ではないように捉えたいし、まだ解決できていない問題として忘れないようにしたい。」

「署名活動に参加して、やっと自分も拉致被害者救済のために一歩踏み出せたような気がします。私たち中学生でもできることをしたいと強く思いました。」

「ニュースで話を聞いたりするよりも気持ちや感情が感じられてよかった。」

「田口八重子さんが子供に会いたいで叫んでたシーンがすごく心に残っている。1歳と3歳の子供を残して拉致されてすごく辛かったんだろうなって思った。拉致された人の親が亡くなっているのがとても辛いなと思った。」

「これまであまり興味がなかったけど、13歳という若さで自由や将来の希望を奪われてしまったということ、友達や親にも会えず孤独になってしまうのはとても辛いと思いました。」

学校の様子をブログで随時公開しています。
ぜひご覧ください。

